

平成29年度 東成区運営方針

【様式1】

(区長:麻野 篤)

◆計画

区の目標（何をめざすのか）	
・区民ひとりひとりが未来に希望を持てる住みよいまちをめざす ・区民がまちづくりや区政に参画し、生きがいを感じ、安全・安心でいきいきとしたまちをめざす	
区の使命（どのような役割を担うのか）	
・区民の要望や地域活動情報を多面的に把握し、区役所が主体的に調整機能を発揮することで、地域の特色を活かしたまちづくりに区民と協働して取り組む。 ・区民の日常生活の安全・安心や子育て、教育、福祉などを担う総合拠点として、区の課題解決に取り組むとともに、区民が利用しやすい信頼される区役所とする。 ・東成区のために区民とともに目標とするまちづくりを進める職員を育成する。	
平成29年度 区運営の基本的な考え方（区長の方針）	
・区の防災力の強化に向けて、地域の特性を踏まえた防災活動を支援するとともに、学校との連携を深めるなど地域や学校の防災・防犯意識の向上に取り組めます。 ・地域で安心して子育てができる環境を作るとともに、地域や学校・PTA等との連携により特色ある学校づくりを推進します。 ・高齢者や障がい者が安心して暮らせるよう、地域社会全体で支援する仕組みづくりを進めるとともに、区民の健康に対する意識の向上に取り組めます。 ・地域の実態に合った活動を進められるよう、地域活動協議会への支援や区民・各種団体等との連携の強化、多くの区民の参加による地域資源を活用したまちの活性化に取り組めます。	
重点的に取り組む主な経営課題（様式2）	
経営課題の概要	主な戦略
【経営課題1】安全で安心なまちづくり ・災害の発生に備えての住民同士が助け合う体制づくりや、犯罪が起こりにくい地域環境づくりに取り組む必要がある。	【1-1 防災対策】 ・地区防災計画に基づく収容避難所運営訓練や災害に係る地元企業等との連携 ・学校園の防災教育の推進 【1-2 防犯対策・安全対策】 ・子どもの防犯意識を高める啓発活動 ・警察等との連携による情報共有及び自主防犯活動の促進 ・放置自転車対策や自転車マナーアップ啓発
主な具体的取組（29年度予算額）	
【1-1-1 地域防災対策への支援】 ・地域実情に合った「地区防災計画」に基づいた防災訓練の充実を図るとともに、地元企業等との連携に係る協力企業等登録制度を進める（予算額3,611千円） 【1-2-1 防犯・安全対策】 ・子どもへの防犯啓発と地域の自主防犯活動、警察等との連携の促進及び防犯カメラの設置による防犯対策に取り組む。 ・街の美観を保持し、安全安心なまちづくりのために、地域・警察・区役所等が連携して自転車マナーアップ啓発に取り組む。（予算額4,535千円）	
経営課題の概要	主な戦略
【経営課題2】教育環境と子育て支援の充実 ・良好な教育環境が整備され、子どもたちが健やかに成長できるよう、学校運営の支援を行う必要がある。 ・地域社会全体で子育て家庭を支援する環境づくり、子育て情報の発信や相談機能を充実する必要がある。	【2-1 子どもが育つ環境整備】 ・地域・保護者・学校等との意見交換を通じ、子どもや学校を支援する環境づくり 【2-2 子育て支援】 ・子育て家庭と地域とのつながりづくりの支援と情報提供
主な具体的取組（29年度予算額）	
【2-1-1 学校等との連携強化】 ・学校長等との意見交換を通じ、学校が必要とする支援を行う。 【2-1-2 子どもの体力向上】 ・子どもと保護者を対象に運動に親しむ機会を提供するスポーツ講座を開催する。（予算額1,300千円） 【2-2-1 子育てネットワーク構築支援事業】 ・子育て家庭と地域とのつながりづくりのための「ひがしなりっすくすくつながるクラブ」の取組みや子育てイベントを開催する。（予算額382千円）	
経営課題の概要	主な戦略
【経営課題3】地域福祉と健康づくりの充実・推進 ・地域福祉における支え合いの充実と、区民一人ひとりが健康寿命の延伸に向けて主体的に健康づくりに取り組む環境づくりとともに、ライフステージに応じて効果的な健康づくりを支援できる取組みを進める必要がある。	【3-1 地域福祉の充実】 ・「東成区地域福祉アクションプラン」や「東成区地域保健・地域福祉ビジョン」に基づく地域福祉の取組みと情報発信の推進 【3-2 健康づくりの推進】 ・健康寿命の延伸に向け区民や地域が主体的に取り組む健康づくりについての啓発活動や情報発信

主な具体的取組（29年度予算額）	
【3-1-1 地域における支え合いの充実】 ・多様な主体が連携し支え合う仕組みである「おももりネット事業」を推進する。（予算額22,057千円） 【3-2-1 ライフステージに応じた健康づくり】 ・地域と連携した介護予防活動の展開や食育講座の開催により、区民が主体的、継続的に健康づくりに取り組める環境づくりをすすめる。（予算額622千円）	
経営課題の概要	主な戦略
【経営課題4】まちの魅力向上 ・地域の様々な活動主体が参加・参画し、地域課題の解決に取り組むとともに、地域資源を活かしたまちづくりの活性化を進める必要がある。	【4-1 区民主体のまちづくりの支援】 ・地域活動協議会への財政的支援と中間支援組織による支援 【4-2 多様な協働による地域活動の活性化】 ・ふれ愛パンジーやイベントの活用による交流機会や場の提供
主な具体的取組（29年度予算額）	
【4-1-1 地域活動協議会に対する支援】 ・地域活動協議会への支援や地域情報の発信、交流会や勉強会を開催する。（予算額17,500千円） 【4-2-1 多様な協働による地域活動の活性化】 ・多様な主体と地域とがつながれる「ひがしなり街道玉手箱」の開催支援。（予算額1,160千円） 【4-2-2 「東成区」の地域資源「魅力発信」】 ・「モノづくり」を通じて、次世代を担う人材育成に取り組むとともに、まちの魅力等の地域資源を発掘し、にぎわいづくりにつなげていく。（予算額1,914千円）	
経営課題の概要	主な戦略
【経営課題5】区民が利用しやすく信頼される区役所づくり ・区民の意見や要望が区役所に届き、わかりやすい区政情報が区民にいきわたるなど、区民満足度の向上に取り組むとともに、区民に信頼される職員を育成する必要がある。	【5-1 透明性と納得性の高い区政運営の推進】 ・区民の多様な意見やニーズの把握と区政への反映 【5-2 情報発信機能の多様な活用】 ・様々な広報媒体を活用し、情報発信するとともに、広報紙配布を通じて、地域課題の解決に向けた取組み 【5-3 便利で信頼される区役所づくり】 ・区民満足度の向上と区民に信頼される職員の育成
主な具体的取組（29年度予算額）	
【5-1-1 区政会議の運営】 ・区民の意見やニーズを把握し、区政運営の参考として活用するため、区政会議と部会を開催する。（予算額662千円） 【5-2-1 広報・情報発信の充実】 ・区広報紙、ホームページ等、様々な広報媒体を活用し、わかりやすく魅力的な広報を行うとともに、地域参加型の広報紙の配布業務を通じて地域課題の解決を図る。（予算額14,464千円） 【5-3-1 区民サービスの向上】 ・区民サービス・利便性の向上を図るため、区民の声や職員提案を取り入れ、環境改善・業務改善を行う。	
「市政改革プラン2.0」に基づく取組等（様式3）	
主な取組項目	取組内容
国民健康保険料未収金圧縮の取組み強化	・国民健康保険料収入の確保に向けて、早期の納付相談・納付指導を強めることで未収金の発生を抑え、未収金の回収に努める。
主な取組項目	取組内容
附設会館（区民センター）におけるサービス向上	・アンケート調査や利用者ニーズ調査を実施し、利用時間や利用者等で分析し、きめ細やかな利用者のサービス向上に取り組む。
主な取組項目	取組内容
ホームページバナー、広報紙、施設等への広告掲載	・広報紙やホームページバナー、庁舎内広告等の様々な媒体において広告掲載を募集する。

◆自己評価

1年間の取組成果と今後取り組みたいこと

解決すべき課題と今後の改善方向

重点的に取り組む主な経営課題

経営課題 1

【安全で安心なまちづくり】

めざすべき将来像（最終的なめざす状態）＜概ね10～20年間で念頭に設定＞

＜防災＞

・災害の発生に備えて住民同士が助け合う体制が整っている状態

＜防犯・安全＞

・区民の防犯意識が高く、街頭犯罪が起こりにくい地域環境となっている状態

現状（課題設定の根拠となる現状・データ）

＜防災＞

・地区防災計画の策定（平成28年度）

① 策定作業中	6地域／11地域
② 策定完了	5地域／11地域

・地域防災訓練の内容（平成28年度）

① 初期消火・救助訓練	11地域／11地域
② 避難訓練	11地域／11地域
③ 収容避難所開設訓練	11地域／11地域
④ 収容避難所運営訓練	6地域／11地域（予定）

＜防犯・安全＞

・子ども事案の発生件数

平成27年	平成28年
18件（23件）	8件

・街頭犯罪の発生件数

平成27年	平成28年
476件（710件）	525件

・自転車盗の発生件数

平成27年	平成28年
308件（446件）	277件

※安まちメールより集計。各年とも8月末現在の数値

※平成27年の（ ）の数値は1～12月の発生件数

・放置自転車撤去台数（東成区全体）

平成27年	平成28年
5,029台（7,595台）	5,022台

・放置自転車撤去台数（鶴橋駅）

平成27年	平成28年
1,493台（2,227台）	1,454台

※各年とも8月末現在の数値。平成27年の（ ）の数値は1～12月の台数

要因分析（現状・データから導かれる分析結果）＜めざすべき将来像と現状に差が生じる要因＞

＜防災＞

・東成区では、順次、各地域で地区防災計画を策定しており、災害時の初期初動訓練（初期消火・救助・収容避難所開設訓練）を中心に実施されている。

・しかしながら、災害時に住居を失った場合は、中長期（1～3か月）の収容避難所生活が強いられるため、同計画に基づく取組み、また地域で自主的に避難所運営ができるよう取り決めなどを策定し、地域住民自身が理解しておく必要がある。

・地域の初期初動訓練は、それぞれのパートごとの訓練に留まっており、計画的かつ組織的な初期初動の動きとはなっていないため、これについても同計画に基づく取組みが必要である。

＜防犯・安全＞

・子ども事案は減少傾向にあるが、街頭犯罪発生件数は増加傾向にあり、全件数の約6割が「自転車盗」となっている。

・駅周辺では市場や飲食店など商業施設も集中していることから、歩行者、自転車の往来も多く、安全で安心な通行環境が必要である。しかし、駅周辺の路上には自転車が多く放置されており、街の美観上、防犯上及び通行環境の安全確保といった観点から対策が必要である。

課題＜上記要因を解消するために必要なこと＞

＜防災＞

・各種訓練の計画的・組織的な遂行には、各地域が策定した地区防災計画に基いた訓練を実施し、防災・減災に繋がる地域特性に応じた防災活動を継続実施するとともに、地元企業等との災害に係る連携を深めていく必要がある。

・中長期の避難生活を想定した収容避難所運営訓練を実施することが必要である。

＜防犯・安全＞

・地域の自主防犯活動の促進を図るとともに、区役所職員（あんパト）や地域団体による青色防犯パトロールカーの地域巡回、警察や地域との連携による犯罪の抑止活動に取り組む必要がある。

・防犯カメラの持つ犯罪抑止効果を最大限発揮させるため、ホームページ等により周知を行っていく必要がある。

・保育所、幼稚園、小学校の授業などを活用して防犯教室を行い、子どもが犯罪に巻き込まれないよう啓発するとともに、自転車盗、ひったくりなどの街頭犯罪に対しては、警察や地域との連携により、防犯啓発やひったくり防止カバー取り付けキャンペーン等を行い、区民が被害者とならないよう取り組む必要がある。

・駅周辺については、歩行者・自転車等のスムーズな通行や潜在的な交通事故防止と街の美観保持のため、放置自転車対策をはじめ、地域、警察などと連携して自転車利用の啓発を行うなど通行環境等の改善を図る取組みが必要である。

戦略の進捗状況を踏まえた経営課題全体としての評価結果の総括

自己評価

めざす成果及び戦略 1-1-1 【防災対策】

計画	めざす状態＜概ね3～5年間で念頭に設定＞		戦略＜中期的な取組の方向性＞	
	・防災・減災に繋がる地域実態を踏まえた地区防災計画に基づく、地域特性に応じた防災訓練が実施され、地元企業等との災害に係る連携が進んでいる状態 アウトカム＜めざす状態を数値化した指標＞ ・中長기를意識した収容避難所運営訓練など地域特性に応じた防災訓練が実施されている地域：平成29年度末までに11地域		・地区防災計画に基づく中長기를意識した収容避難所運営訓練や、地域団体等を中心に小・中学生が参加できるような防災活動に取り組み、災害に係る地元企業等との連携を深めていく。 ・学校園が防災教育を推進できるように支援する。	
自己評価	戦略のアウトカムに対する有効性	ア：有効であり、継続して推進 イ：有効でないため、戦略を見直す		課題 ※有効性が「イ」の場合は必須
	アウトカムの達成状況	前年度	個別	全体
	A：順調 B：順調でない			今後の対応方向 ※有効性が「イ」の場合は必須
	戦略の進捗状況	a：順調 b：順調でない		

具体的取組 1-1-1-1 【地域防災対策への支援】

		27決算額	2,760千 円	28予算額	3,872千 円	29予算額	3,611千 円
計画	取組内容		業績目標（中間アウトカム）				
	各地域の地区防災計画に基づいた防災訓練の充実を図るとともに、地元企業等との連携に係る協力企業等登録制度を進める。また、学校園が行う防災教育を支援する。 ・中長기를意識した収容避難所運営訓練にかかる説明会の実施 ・協力企業等登録制度に係る企業訪問の実施及び災害時に係る協力要請 ・広報紙等での防災特集記事による広報 ・学校園との防災教育への支援		・地区防災計画に基づく、中長기를意識した収容避難所運営訓練など地域特性に応じた防災訓練が実施されている地域：11地域 【撤退基準】 ・上記目標が7地域以下の場合は事業を再構築する。 前年度までの実績 平成28年度実績 ・収容避難所運営訓練の実施：6地域				
中間振り返り	業績目標の達成状況	①：目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②：目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③：撤退基準未達成		課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須			
	戦略に対する取組の有効性	○：有効 ×：有効でないため取組を見直す ー：中間アウトカム未設定(未測定)					
自己評価	取組実績		課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須				
	業績目標の達成状況		改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須				
	①：目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②：目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③：撤退基準未達成						
	戦略に対する取組の有効性	○：有効 ×：有効でないため見直す ー：中間アウトカム未設定(未測定)					

めざす成果及び戦略 1-2 【防犯・安全対策】

計画	めざす状態＜概ね3～5年間で念頭に設定＞		戦略＜中期的な取組の方向性＞	
	・自主防犯活動や青パトによる巡回、防犯カメラの設置等により、子ども事案や街頭犯罪を減らすとともに、通行環境の改善により、「安全で安心して暮らせるまち」になっている状態		防犯意識を高め、地域の自主防犯活動の促進を図るとともに、警察などの関係機関と連携し、犯罪抑止のための効果的な防犯対策に取り組む。 安全安心な通行環境改善のため地域や関係機関と連携した取組を行う。	
自己評価	アウトカム＜めざす状態を数値化した指標＞		・防犯教室などにより、子どもの防犯意識の向上を図る。	
	・防犯対策をはじめ、安全で安心なまちづくりが進んでいると感じる区民の割合：平成29年度末までに50%以上		・自主防犯活動の促進を図る。 ・防犯カメラの設置に取り組み、防犯対策を推進する。 ・放置自転車対策や自転車マナーの向上等に取り組む。	
自己評価	戦略のアウトカムに対する有効性		課題 ※有効性が「イ」の場合は必須	
	アウトカムの達成状況			
		前年度	個別	全体
自己評価	A：順調 B：順調でない		今後の対応方向 ※有効性が「イ」の場合は必須	
	戦略の進捗状況			
	a：順調 b：順調でない			

具体的取組 1-2-1 【防犯・安全対策】

27決算額 9,125千円 28予算額 7,690千円 29予算額 4,535千円

計画	取組内容		業績目標（中間アウトカム）	
	子ども事案、街頭犯罪の抑止に向けて、子どもへの防犯啓発と地域の自主防犯活動、警察等との連携を進めるとともに、防犯カメラの設置に取り組み防犯対策を推進する。 駅周辺については、街の美観を保ちつつ、歩行者や自転車が安全安心に通行ができるよう、地域・警察などと連携して啓発等に取り組む。 ・就学前児童の防犯啓発、子ども防犯教室等の開催 ・青パトの活用 ・「安全・安心ミニフェスタ」の開催：2回 ・地域の見守り隊などと連携したあんパトによる地域巡回 ・自転車盗防止キャンペーン、ひったくり防止カバー取付けキャンペーン ・防犯カメラの設置 ・自転車利用マナーアップ啓発 ・自転車利用アンケート調査結果に基づく通行環境改善に向けた取組み		・防犯対策をはじめ、安全で安心なまちづくりが進んでいると感じる区民の割合：50%以上 【撤退基準】 ・上記目標が40%未満であれば事業を再構築する。	
自己評価	前年度までの実績		平成28年度実績 ・就学前児童の防犯啓発、子ども防犯教室等の開催 ・「安全・安心ミニフェスタ」の開催：2回 ・地域の見守り隊などと連携したあんパトによる地域巡回 ・自転車利用マナーアップ啓発 ・自転車利用アンケート調査の実施	
	業績目標の達成状況		課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須	
自己評価	①：目標達成（見込）（i）取組は予定どおり進捗（ii）取組は予定どおり進捗していない ②：目標未達成（見込）（i）取組は予定どおり進捗（ii）取組は予定どおり進捗していない ③：撤退基準未達成			
	戦略に対する取組の有効性		○：有効 ×：有効でないため取組を見直す ―：中間アウトカム未設定（未測定）	
自己評価	取組実績		課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須	
	業績目標の達成状況			
自己評価	①：目標達成（i）取組は予定どおり実施（ii）取組を予定どおり実施しなかった ②：目標未達成（i）取組は予定どおり実施（ii）取組を予定どおり実施しなかった ③：撤退基準未達成		改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須	
	戦略に対する取組の有効性		○：有効 ×：有効でないため見直す ―：中間アウトカム未設定（未測定）	

めざすべき将来像（最終的なめざす状態）＜概ね10～20年を念頭に設定＞

＜教育環境＞

・保育所・幼稚園・学校、保護者、地域等が協力し合い、子どもたちにとって良好な教育・生活環境が整い、子どもたちが安心して過ごし、将来を生き抜く力を身につけて、それぞれの可能性を伸ばせるようになっている状態

＜子育て支援＞

・地域社会全体で子育て家庭を支援する環境が整い、子育て家庭が安心して子育てができる状態

現状（課題設定の根拠となる現状・データ）

＜教育環境＞

○学力について

・平成28年度「全国学力・学習状況調査」の結果では、大阪市内の小学校・中学校ともに国語、算数の平均正答率が全国平均を下回っている。

○生活習慣について

・朝食を毎日食べている割合

小学生…大阪市93.0%[+0.8ポイント]、全国95.5%[-0.1ポイント] 中学生…大阪市90.1%[+1.2ポイント]、全国93.3%[-0.2ポイント]

・普段、何時までに寝ている（小学生10時、中学生11時）割合[設問形態変更により前年比較なし]

小学生…大阪市34.0%、全国49.6% 中学生…大阪市25.5%、全国36.9%

【平成28年度全国学力・学習状況調査（小学校5年生、中学校2年生対象）】[]は前年度比較

○体力・運動能力について

・小学生男女と中学生女子は、ボール投げ、握力で全国平均を上回ったものの、その他の6種目（50m走、立ち幅とび など）で平均を下回った。また、中学生男子では、握力で全国平均を上回ったものの、その他の7種目で平均を下回った。

・1週間の総運動時間が0分の児童・生徒の割合は、小・中学校、男女ともに全国と比べて高かった。

【平成27年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査】

＜子育て支援＞

・子育て世帯に対する地域や東成区の取り組みについての満足度：74%[+4ポイント]

・学校就学前の子育てに関する事で、困ったときの相談先の割合（複数回答可）

家族・親戚・知人等：43.0%[-12ポイント]／幼稚園・保育所（園）：28.0%[+5ポイント]

子育て支援センター・子ども子育てプラザ：11.0%[+2ポイント]／区役所：14.0%[+9ポイント]

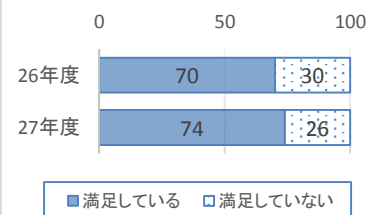
こども相談センター：2.0%[-1ポイント]／地域子育てサークル：2.0%[-2ポイント]

・東成区や各校下で取り組んでいる子育て支援事業に参加したこと

のある割合：56.5%[+7.5ポイント]

【平成27年度区民モニター】[]は前年度比較

子育て世帯に対する地域や東成区の取り組みについての満足度



要因分析（現状・データから導かれる分析結果）＜めざすべき将来像と現状に差が生じる要因＞

＜教育環境＞

・児童生徒の学力向上には、学校・家庭・地域が連携して取り組むことが重要であり、より一層の連携が必要とされる状況にある。

・「朝食を毎日食べていない子どもの割合」や「遅くまで起きている子どもの割合」が全国平均を上回っている。望ましい生活習慣に改善する必要がある子どもが多数見受けられる。

・全国体力・運動能力において、小中学校の男女とも多くの種目で全国平均を下回る結果となった。1週間の総運動時間が0分という児童・生徒の割合が小・中学校、男女ともに全国と比べて高いという結果が出ていることから、子どもの運動機会の減少が要因の一つであると考えられる。

＜子育て支援＞

・子育て世帯に対する地域や行政の取り組みへの満足度は昨年度よりも、少し高くなっており、地域団体や子育てサークル・企業と連携した子育てイベント等の子育て支援の取り組みの成果が少しずつ表れてきていると考えられる。

・学校就学前の子育てに関する事で、困ったときの相談先の割合について、家族や知人などの身近な相談先が減っていることから、子育て家庭を支援する身近なつながりの希薄化がみられる。一方で、公的な機関への相談が増えており支援サービスへのニーズが高いことが考えられる。

・東成区や各校下で取り組んでいる子育て支援事業に参加したことのある割合について、昨年度より高くなっているものの、約半数強と低く、子育て家庭の多様なニーズに応える取組みや、情報提供が十分でないと考えられる。

課題＜上記要因を解消するために必要なこと＞

＜教育環境＞

・子どもは家庭生活をはじめ、学校、地域など社会における様々な経験や人との交流を通じて成長していくものである。学力の向上及び健全な生活習慣を身につけるためには、家庭はもとより学校、地域が連携して、子どもや学校を支える環境づくりが必要である。

・子どもが新たに運動やスポーツへ取り組むためには、きっかけづくりとして運動に親しむ機会を提供する必要がある。また、体力向上につなげるためには継続した取組みが必要である。

＜子育て支援＞

・子育て家庭の満足度をさらに高めるため、安心して子育てできるように、子育て家庭と地域のつながりづくりを支援する仕組みをいっそう充実していく必要がある。また、保育所（園）等の利用など子育てを支援する相談や情報提供の充実も必要と考えられる。また、子育て家庭の多様なニーズに対応する子育てイベントの充実や広報媒体を活用して情報提供に努めていく必要がある。

戦略の進捗状況を踏まえた経営課題全体としての評価結果の総括

めざす成果及び戦略 2-1 【子どもが育つ環境整備】

計画	めざす状態＜概ね3～5年間で念頭に設定＞		戦略＜中期的な取組の方向性＞	
	・地域・保護者・学校等と連携し、子どもや学校を支援する環境が整っている状態		・地域・保護者・学校等との意見交換を通じ子どもや学校を支援する環境づくりに取り組む。	
計画	アウトカム＜めざす状態を数値化した指標＞			
	・学校が地域や区役所からの連携や支援を得られていると感じる 学校関係者の割合：平成29年度末までに60%以上			
自己評価	戦略のアウトカムに対する有効性	ア：有効であり、継続して推進 イ：有効でないため、戦略を見直す		課題 ※有効性が「イ」の場合は必須
	アウトカムの達成状況	前年度	個別	全体
	A：順調 B：順調でない			今後の対応方向 ※有効性が「イ」の場合は必須
	戦略の進捗状況	a：順調 b：順調でない		

具体的取組2-1-1 【学校等との連携強化】

		27決算額	— 円	28予算額	— 円	29予算額	— 円
計画	取組内容		業績目標（中間アウトカム）				
	小・中学校の校長との意見交換を行い、学校が必要とする支援を行う。 ・区長と学校長との意見交換の実施：13回 ・教育行政連絡会：6回 ・土曜授業等での区職員の協力：11回 ・「学校協議会」への参加：1校につき3回（15校） ・区内全小中学校が集う講演会等の開催 ・地域のスポーツや青少年健全育成に向けた活動の広報		・区役所と連携した事業に満足と感じる学校の割合：60%以上 【撤退基準】 ・上記割合が30%を下回る場合は事業を再構築する。				
計画			前年度までの実績				
			平成28年度実績 ・区長と学校長との意見交換：17回 ・土曜授業等での区職員の協力：24回 ・学校協議会への参加：57回				
中間振り返り	業績目標の達成状況		課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須				
	①：目標達成（見込）（i）取組は予定どおり進捗（ii）取組は予定どおり進捗していない ②：目標未達成（見込）（i）取組は予定どおり進捗（ii）取組は予定どおり進捗していない ③：撤退基準未達成						
自己評価	戦略に対する取組の有効性		○：有効 ×：有効でないため取組を見直す —：中間アウトカム未設定（未測定）				
自己評価	取組実績		課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須				
	業績目標の達成状況		改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須				
	①：目標達成（i）取組は予定どおり実施（ii）取組を予定どおり実施しなかった ②：目標未達成（i）取組は予定どおり実施（ii）取組を予定どおり実施しなかった ③：撤退基準未達成						
自己評価	戦略に対する取組の有効性		○：有効 ×：有効でないため見直す —：中間アウトカム未設定（未測定）				

具体的取組2-1-2

【子どもの体力向上】

		27決算額	— 円	28予算額	— 円	29予算額	1,300千 円
計画	取組内容			業績目標（中間アウトカム）			
	スポーツに取り組むきっかけづくりとして、子どもと保護者を対象に、運動に親しむ機会を提供するスポーツ講座を開催する。			・運動をするきっかけづくりになったと感じる保護者の割合：60%以上 【撤退基準】 ・上記割合が30%未満の場合は事業を再構築する。			
				前年度までの実績 平成29年度新規事業			
中間振り返り	業績目標の達成状況			課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須			
	①：目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②：目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③：撤退基準未達成						
	戦略に対する取組の有効性		○：有効 ×：有効でないため取組を見直す —：中間アウトカム未設定(未測定)				
自己評価	取組実績			課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須			
	業績目標の達成状況						
	①：目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②：目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③：撤退基準未達成			改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須			
戦略に対する取組の有効性			○：有効 ×：有効でないため見直す —：中間アウトカム未設定(未測定)				

めざす成果及び戦略 2-2 【子育て支援】

計画	めざす状態＜概ね3～5年間で念頭に設定＞	戦略＜中期的な取組の方向性＞
	・子育て家庭が地域で気軽に相談でき、必要な支援や情報を受け取ることができる状態 アウトカム＜めざす状態を数値化した指標＞ ・東成区や地域の子育て支援の取り組みに満足する子育て世代の区民の割合：平成29年度末までに70%以上	・「ひがしなりっ子すくすくつながるクラブ」の充実を図り、子育て家庭と地域のつながりづくりを支援する。 ・子育てに役立つ情報を提供する。

自己評価	戦略のアウトカムに対する有効性	ア：有効であり、継続して推進 イ：有効でないため、戦略を見直す	課題 ※有効性が「イ」の場合は必須
	アウトカムの達成状況	前年度 個別 全体	
			今後の対応方向 ※有効性が「イ」の場合は必須
	戦略の進捗状況	a：順調 b：順調でない	

具体的取組2-2-1 【子育てネットワーク構築支援事業】

27決算額 3,795千円 28予算額 434千円 29予算額 382千円

計画	取組内容	業績目標（中間アウトカム）
	○子育て家庭と地域のつながりづくりを支援する仕組みの充実 ・「ひがしなりっ子すくすくつながるクラブ」の充実 ○子育てを支援するイベントの開催 ・地域子育てサークルの合同イベント「子育てふれあいサークル大・集・合！」の開催：1回 ・親子で遊び交流できる場「すくすくつながるランド（子育てフォーラムからイベント名変更）」の開催：1回、「プラザフェスタ」の開催：2回（参加しやすい身近な地域での複数回の開催） ・0歳から参加できる乳幼児の運動会「ひがしなりっ子 すくすくつながるうんどうかい」の開催：1回 ○子育てボランティアの育成「子育て応援隊」の地域への派遣：11回 ○地域の子育て支援関係者による会議の開催	・子育てを支援するイベントへ参加したことのある子育て中の区民の割合：60%以上 【撤退基準】 ・上記目標が30%未満の場合は事業を再構築する。 前年度までの実績 平成28年度実績 ・「ひがしなりっ子すくすくつながるクラブ」登録者：1,551人（3月末） ・子育てボランティアの派遣：11回 ・地域の子育て支援関係者による会議の開催 ・「プラザフェスタin深江」「地域子育てサークルイベント」、「ひがしなりっ子 すくすくつながるうんどうかい」の開催、「ひがしなりっ子 すくすくつながるランド」「プラザフェスタ」の開催

中間振り返り	業績目標の達成状況	課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①：目標達成（見込）（i）取組は予定どおり進捗（ii）取組は予定どおり進捗していない ②：目標未達成（見込）（i）取組は予定どおり進捗（ii）取組は予定どおり進捗していない ③：撤退基準未達成 戦略に対する取組の有効性 ○：有効 ×：有効でないため取組を見直す —：中間アウトカム未設定（未測定）	

自己評価	取組実績	課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	業績目標の達成状況	改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①：目標達成（i）取組は予定どおり実施（ii）取組を予定どおり実施しなかった ②：目標未達成（i）取組は予定どおり実施（ii）取組を予定どおり実施しなかった ③：撤退基準未達成 戦略に対する取組の有効性 ○：有効 ×：有効でないため見直す —：中間アウトカム未設定（未測定）	

具体的取組2-2-2

【子育てにかかる情報提供の充実】

27決算額		114千 円	28予算額	83千 円	29予算額	178千 円
計画	取組内容		業績目標（中間アウトカム）			
	子育て世帯が必要とする情報発信を行う。 ・子育て支援イベント、乳幼児健診、子育て支援機関等でのアンケート調査の実施 6回 ・facebookによる情報発信 ・「子育て応援隊」による編集会議の開催:2回 ・子育てに役立つ情報誌の発行:1回(配布対象者は母子手帳交付時の妊婦、3ヶ月児健診対象児の保護者) ・保育所(園)の空き状況を把握し、情報を提供する ・教育・保育施設の利用者支援専門員による相談及び情報提供		・区役所からの子育て情報が充実していると感じる区民の割合:60%以上 【撤退基準】 ・上記目標が40%未満の場合は事業を再構築する。			
	前年度までの実績					
	平成28年度実績		・facebookによる情報発信:269回(4月から3月末)週平均5.6回 ・子育てリーフレットの発行:1回 ・保育所(園)の空き状況を把握し、情報を提供			
中間振り返り	業績目標の達成状況		課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須			
	①:目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②:目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③:撤退基準未達成					
	戦略に対する取組の有効性		○:有効 ×:有効でないため取組を見直す ー:中間アウトカム未設定(未測定)			
自己評価	取組実績		課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須			
	業績目標の達成状況		改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須			
	①:目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②:目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③:撤退基準未達成					
戦略に対する取組の有効性		○:有効 ×:有効でないため見直す ー:中間アウトカム未設定(未測定)				

めざすべき将来像（最終的なめざす状態）＜概ね10～20年を念頭に設定＞

＜地域福祉の充実＞

・地域における支え合いが充実し、区民が住み慣れた地域で安心して生活できる状態

＜健康づくりの推進＞

・地域住民が健康寿命の延伸に向けて、主体的に健康づくりに取り組み、生活習慣病の予防・改善並びに早期発見・早期治療に取り組んでいる状態。

現状（課題設定の根拠となる現状・データ）

＜地域福祉の充実＞

・おまもりネット登録者数：4,626人（平成29年3月末）[平成28年度の新規登録者数576人]（対象者 約2万人）
4,050人（平成28年3月末）

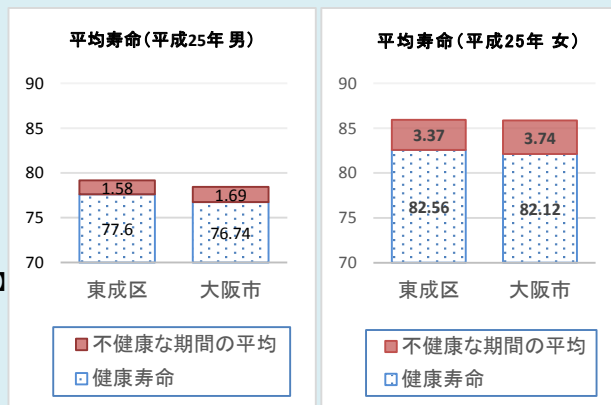
・地域福祉の取組みの認知度：「登下校時の見守り活動」80%、「ふれあい喫茶」68%、「高齢者食事サービス」45%、「子育てサークル」43%
・参加・協力できそうな地域福祉の取組みは「地域福祉に関する講演会や講座などへの参加」：32%、「地域での見守り活動」：31%
・地域福祉の取組みが充実していると肯定的に感じる区民の割合：65%
・地域福祉をより充実させるために区役所に求めること：「相談が気軽にできるしくみづくり」26%、「地域福祉に関する情報発信」18%、「地域のつながりづくりや交流の場づくり」16%

【平成27年度区民モニター】

＜健康づくりの推進＞

・東成区では不健康な期間の平均年数は大阪市と比較して低く、男性1.58、女性3.37となっている。
・特定健診受診率は平成25年度で東成区19.4%、大阪市19.7%、大阪府27.9%、国34.2%であり大阪府・国と比較して受診率が低い。
・朝食を毎日食べている割合について（再掲）
小学生は大阪市93.0%[+0.8ポイント]全国95.5%[-0.1ポイント]、
中学生は大阪市90.1%[+1.2ポイント]全国93.3%[-0.2ポイント]
であり、改善はされているものの、全国と比較して小中学生ともに低い。

【平成28年度全国学力・学習状況調査（小学校5年生、中学校2年生対象）】
[]は前年度比較



要因分析（現状・データから導かれる分析結果）＜めざすべき将来像と現状に差が生じる要因＞

＜地域福祉の充実＞

・「おまもりネット」への登録者数は4,626人となっており、東成区内で65歳以上の方、約20%に登録いただいているが、今後の高齢者人口の増加などを考慮すると引き続き事業周知が必要である。
・区役所に求めることとして、「相談が気軽にできるしくみづくり」や「地域のつながりづくりや交流の場づくり」を求める声が多い。
・また、「地域福祉に関する情報発信」のニーズも存在する。

＜健康づくりの推進＞

・高齢化が進む中、健康寿命の延伸が重要である。不健康な期間について、大阪市と比較して低くなっているが、健康寿命の延伸に向けた正しい知識の普及啓発や情報提供に引き続き取り組む必要がある。
・特定健診の受診率が低く、健康づくりに対する意識が低いと考えられる。
・こどもの食生活の改善など健全な生活習慣の形成が十分でなく、食育の実践が十分に浸透していないと考えられる。

課題（上記要因を解消するために必要なこと）

＜地域福祉の充実＞

・「おまもりネット事業」をはじめとした地域福祉の取り組みを広く周知し、地域での支え合いの活動につなげていく必要がある。特に、「おまもりネット」については一定の周知を行い登録者数は4,626人（平成29年3月末）となっており、未登録者への加入促進が必要である。
・多様なニーズに対応し地域福祉活動を効果的かつ円滑に推進するためには、活動の担い手の拡大や関係者による議論の充実を図る必要がある。
・将来像の実現のためには、多くの区民をはじめ民間事業者や専門機関等が参画・連携していく必要がある。
・区民の地域福祉に対する関心を高めていくために、継続的かつ効果的な啓発を実施していく必要がある。

＜健康づくりの推進＞

・生涯を通じて健康保持・増進できるよう、ライフステージに応じて区民が主体的・継続的に健康づくりに取り組める環境づくりが必要である。
・健やかな食生活は健康づくりの基本であり、発育が重要な時期から生涯を通じた健やかな食生活習慣を身につける取り組みが必要である。
・特定健診受診率の向上への普及啓発や若者層をはじめとした幅広い区民の健康づくりを支援できる効果的な取り組みを進めていく必要がある。
・健康長寿をめざし、介護予防活動「いきいき百歳体操」の展開など、身近な地域で健康づくりに取り組める環境づくりが必要である。

戦略の進捗状況を踏まえた経営課題全体としての評価結果の総括

めざす成果及び戦略 3-1 【地域福祉の充実】

計画	めざす状態＜概ね3～5年間を念頭に設定＞		戦略＜中期的な取組の方向性＞	
	・多様な主体の連携による地域福祉が進められている状態 ・住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けられる状態		・地域の実情や要支援者のニーズに応じた地域福祉の取り組みの充実を図る。 ・地域福祉に関する情報発信や啓発を行う。 ・地域の関係団体や専門機関等の連携により、地域福祉課題の解決に向けた検討を行い、取組みの充実につなげる。 ・在宅医療・介護連携の取組みを推進し、地域福祉の取組みと併せて高齢者の在宅での生活を支援していく。	
計画	アウトカム＜めざす状態を数値化した指標＞			
	・地域福祉の取組みが充実してきていると感じる区民の割合：平成29年度末までに70%以上			
自己評価	戦略のアウトカムに対する有効性	ア：有効であり、継続して推進 イ：有効でないため、戦略を見直す		課題 ※有効性が「イ」の場合は必須
	アウトカムの達成状況	前年度	個別	全体
	A：順調 B：順調でない			今後の対応方向 ※有効性が「イ」の場合は必須
	戦略の進捗状況	a：順調 b：順調でない		

具体的取組3-1-1 【地域における支え合いの充実-おまもりネット事業の推進】

27決算額 30,971千 円 28予算額 22,084千 円 29予算額 22,057千 円

計画	取組内容		業績目標（中間アウトカム）	
	「おまもりネット事業」をはじめとした地域福祉活動を推進するとともに、要支援者の個別支援のためのコーディネートを行う。 ・地域福祉活動サポーターの配置：11地域 ・「おまもりネット事業」の個別周知：約1,200人（65歳到達者） ・区内で実施しているイベント等での「おまもりネット事業」の周知・啓発 ・地域福祉活動の推進：11地域 ・関係機関と連携し「緊急時安否確認（かぎ預かり）事業」を実施し、独居高齢者を支える仕組みを充実させる。 ・「専門分野別実務者会議」を開催し、地域と関係機関が高齢者・障がい者支援について検討を行う。		・おまもりネットへの新規登録者数：300人 【撤退基準】 ・上記目標が120人未満の場合は事業を再構築する。	
計画			前年度までの実績	
			平成28年度実績 ・おまもりネット新規登録者数576人（平成29年3月末時点の登録者数4,626人）	
中間振り返り	業績目標の達成状況			課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①：目標達成（見込）（i）取組は予定どおり進捗（ii）取組は予定どおり進捗していない ②：目標未達成（見込）（i）取組は予定どおり進捗（ii）取組は予定どおり進捗していない ③：撤退基準未達成			
中間振り返り	戦略に対する取組の有効性	○：有効 ×：有効でないため取組を見直す ー：中間アウトカム未設定（未測定）		
自己評価	取組実績		課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須	
	業績目標の達成状況		改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須	
	①：目標達成（i）取組は予定どおり実施（ii）取組を予定どおり実施しなかった ②：目標未達成（i）取組は予定どおり実施（ii）取組を予定どおり実施しなかった ③：撤退基準未達成			
自己評価	戦略に対する取組の有効性	○：有効 ×：有効でないため見直す ー：中間アウトカム未設定（未測定）		

めざす成果及び戦略 3-2 【健康づくりの推進】

計画	めざす状態＜概ね3～5年間で念頭に設定＞		戦略＜中期的な取組の方向性＞		
	・区民一人ひとりが健康づくりに関心を持ち、生活習慣の改善や、病気の予防等に取り組んでいる状態 アウトカム＜めざす状態を数値化した指標＞ ・区が実施している健康づくりに関する取り組みへの満足度：平成29年度末までに70%		・医師会等の関係機関と連携を強化するとともに、食生活の改善や運動の実践など、区民や地域が主体的に健康づくりや病気の予防等、健康寿命の延伸に向けた取り組みを推進する。		
自己評価	戦略のアウトカムに対する有効性		課題 ※有効性が「イ」の場合は必須		
	アウトカムの達成状況		前年度	個別	全体
		A: 順調 B: 順調でない		今後の対応方向 ※有効性が「イ」の場合は必須	
戦略の進捗状況			a: 順調 b: 順調でない		

具体的取組3-2-1 【ライフステージに応じた健康づくり事業】

27決算額 398千円 28予算額 733千円 29予算額 622千円

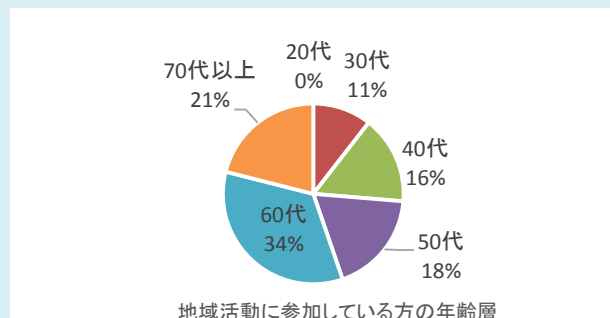
計画	取組内容		業績目標（中間アウトカム）	
	健康寿命を延伸するため、区民が主体的、継続的に健康づくりに取り組める環境づくりを推進する。 ○食育の推進 ・小中学校等での食育に対する理解を深めるための食育講座の実施 ・食育に関する情報発信 ○特定健診受診率の向上に向けた普及啓発の実施 ・啓発物品を約2,000人に配布 ○地域と連携した介護予防活動「いきいき百歳体操」の展開 ・百歳体操の実施に向けた連絡調整 ・健康教育冊子の配布による継続支援 ・継続実施の機運を高めるための情報交換会の開催 ○幅広い区民が取り組める健康づくりの推進 ・健康づくり講演会の開催：1回 ・ウォーキングマップなどの健康教育用資料の作成・配布による適度な運動の継続支援 ○地域の健康づくり支援関係者による会議の開催		・区が実施している健康づくりに関する取り組みへの満足度：70%以上【撤退基準】 ・上記目標が50%未満の場合は事業を再構築する。 前年度までの実績 平成28年度実績 ・食生活改善推進員協議会と連携し、区内小学校・中学校での食育講座の実施：15回 ・健康づくりの「専門分野別実務者会議」の開催：4回 ・高血圧予防についての情報発信・健康教育：12回	
中間振り返り	業績目標の達成状況		課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須	
	①：目標達成（見込）（i）取組は予定どおり進捗（ii）取組は予定どおり進捗していない ②：目標未達成（見込）（i）取組は予定どおり進捗（ii）取組は予定どおり進捗していない ③：撤退基準未達成			
自己評価	戦略に対する取組の有効性		○：有効 ×：有効でないため取組を見直す ―：中間アウトカム未設定（未測定）	
	取組実績		課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須	
	業績目標の達成状況		改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須	
	①：目標達成（i）取組は予定どおり実施（ii）取組を予定どおり実施しなかった ②：目標未達成（i）取組は予定どおり実施（ii）取組を予定どおり実施しなかった ③：撤退基準未達成			
戦略に対する取組の有効性			○：有効 ×：有効でないため見直す ―：中間アウトカム未設定（未測定）	

めざすべき将来像（最終的なめざす状態）＜概ね10～20年間で念頭に設定＞

- ・様々な活動主体が互いに理解し信頼し合いながら協働する豊かなコミュニティとなっている。これらの活動主体が行政と協働して地域課題に取り組んでいる状態。
- ・東成区のまちに魅力やにぎわい、活気があり、区民が愛着を持って暮らしている状態。

現状（課題設定の根拠となる現状・データ）

- ・地域活動（身近な地域の社会環境をよくするために、市民や地域の各種団体、NPO法人、ボランティア団体、事業者などが地域を中心に取り組む公益的な活動）に参加している区民の割合は17%、そのうち60代以上が全体の6割程度を占めている。【平成27年度区民モニターより】



計画

- ・いろんな団体が集まり、話し合い、協力しながら、地域課題の解決やまちづくりに取り組んでいくための仕組みである地域活動協議会による活動を良いことだと思っている 区民の割合：95%
- ・小学校区を越えた範囲で、地域活動協議会をはじめ、地域団体や市民、NPO、企業などいろんな方々が連携し、協働することによって、まちづくりに関する活動が進められていると感じている 区民の割合：28% [+4ポイント]
【平成27年度区民モニターより】[]は前年度比較

- ・区政会議「にぎわい・きずな部会」において、「東成区のにぎわいを活性化させていくためには、東成区の地域資源をPRする必要がある、そのためには、市民協働の視点から東成区のことを再認識する必要がある」との議論がなされた。

要因分析（現状・データから導かれる分析結果）＜めざすべき将来像と現状に差が生じる要因＞

- ・東成区は、地域コミュニティの活動が活発なまちであるが、活動者は高齢層に比べ若年層が少ない。
- ・地域コミュニティを活性化させ、複雑多様化する地域課題の解決には、地域課題や資源等をよく知っている地域団体等や市民、NPO、企業等の活動主体と行政が協働して取り組みを推進していくことが大切である。しかし、地域活動に参画しやすい環境が整っていると感じている方や、多様な活動主体の協働が進んでいると感じる方は、少ない状況である。
- ・区政会議「にぎわい・きずな部会」における「まち歩き」に関する議論内容を踏まえ、東成区ににぎわいをもたらす地域資源の発見・発掘をしていくためには、区民とともに東成区を再度よく知る必要がある。
- ・区民とともに、にぎわいのあるまちづくりを推進するため、東成区の地域資源を効果的にPRしていくことが大切である。

課題＜上記要因を解消するために必要なこと＞

- ・より多くの区民が地域活動へ参加・参画できるよう、地域や取り組みの情報が広く発信されるとともに、一層の開かれた地域コミュニティづくりを進める必要がある。
- ・東成区のまちの魅力を高め、にぎわいのあるまちづくりを推進するためには、市民協働の視点から区民とともに「まち歩き」などを実施し、東成区その魅力をPRするとともに、その活用を含めた仕組みづくりが必要である。

戦略の進捗状況を踏まえた経営課題全体としての評価結果の総括

自己評価

めざす成果及び戦略 4-1 【区民主体のまちづくりの支援】

計画	めざす状態＜概ね3～5年間で実現＞	戦略＜中期的な取組の方向性＞
	・様々な活動主体が地域活動に参画し、地域課題に取り組んでいる状態 アウトカム＜めざす状態を数値化した指標＞ ・地域の中でつながりを実感している区民の割合：平成29年度末までに50%以上 ・中間支援組織から支援を受けていると感じている活動主体の割合：平成29年度末までに50%以上	・地域において、様々な活動主体が参画し、地域特性を活かした地域活動が行われるよう、地域活動協議会への支援を行う。 ・自律的な地域運営を行うことができるよう、中間支援組織を活用しての専門的なアドバイスや情報発信、交流の場等の提供を行う。

自己評価	戦略のアウトカムに対する有効性	ア：有効であり、継続して推進 イ：有効でないため、戦略を見直す	課題 ※有効性が「イ」の場合は必須
	アウトカムの達成状況	前年度 個別 全体	
			今後の対応方向 ※有効性が「イ」の場合は必須
	戦略の進捗状況	a：順調 b：順調でない	

具体的取組 4-1-1 【地域活動協議会に対する支援】

		27決算額	17,404千 円	28予算額	17,500千 円	29予算額	17,500千 円
計画	取組内容	業績目標（中間アウトカム）					
	地域活動協議会に対する支援を行うとともに、地域情報の発信、交流会等を開催する。 ・地域の会議や事業への参加：各地域（11地域）40回 ・勉強会・交流会の開催：6回 ・会計の透明性の確保に向けた取組み：11地域 ・広報紙への地域情報の掲載：12回	・地域の中でつながりを実感している区民の割合：50%以上 ・中間支援組織から支援を受けていると感じている活動主体の割合：50%以上 【撤退基準】 ・上記目標が25%未満の場合は事業を再構築する。					
中間振り返り	業績目標の達成状況	課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須					
	①：目標達成（見込）（i）取組は予定どおり進捗（ii）取組は予定どおり進捗していない ②：目標未達成（見込）（i）取組は予定どおり進捗（ii）取組は予定どおり進捗していない ③：撤退基準未達成						
	戦略に対する取組の有効性	○：有効 ×：有効でないため取組を見直す ー：中間アウトカム未設定（未測定）					
自己評価	取組実績	課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須					
	業績目標の達成状況	改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須					
	①：目標達成（i）取組は予定どおり実施（ii）取組を予定どおり実施しなかった ②：目標未達成（i）取組は予定どおり実施（ii）取組を予定どおり実施しなかった ③：撤退基準未達成						
	戦略に対する取組の有効性	○：有効 ×：有効でないため見直す ー：中間アウトカム未設定（未測定）					

めざす成果及び戦略 4-2 【にぎわいや活気のあるまちづくり】

計画	めざす状態＜概ね3～5年間で念頭に設定＞		戦略＜中期的な取組の方向性＞	
	・様々な活動主体と区役所が協働により、地域資源を活用して、にぎわいや活気のあるまちづくりが進められている状態 アウトカム＜めざす状態を数値化した指標＞ ・様々な活動主体との連携・協働によりまちづくりが進められていると感じている区民の割合：平成29年度末までに50%以上 ・イベント等の参加や運営を通じて、まちづくりなどの地域活動に参加したいと感じた区民の割合：平成29年度末までに50%以上		・新たな担い手を発掘するため、ふれ愛パンジーの活用やイベントの開催を通じて、様々な活動主体が交流できる機会や場の提供を行う。 ・区民とともに東成区の地域資源を発見・発掘し、その地域資源を活用することで、にぎわいや活気の創造に取り組む。	
自己評価	戦略のアウトカムに対する有効性	ア：有効であり、継続して推進 イ：有効でないため、戦略を見直す		課題 ※有効性が「イ」の場合は必須
	アウトカムの達成状況	前年度	個別	全体
	A：順調 B：順調でない		今後の対応方向 ※有効性が「イ」の場合は必須	
	戦略の進捗状況	a：順調 b：順調でない		

具体的取組4-2-1 【多様な協働による地域活動の活性化】

27決算額 1,598千円 28予算額 1,447千円 29予算額 1,160千円

計画	取組内容		業績目標（中間アウトカム）	
	東成区の地域資源を活用し、多様な活動主体と地域がつながる「ひがしなり街道玉手箱」の開催に協力し、その広報・情報発信をしていく。 ・実行委員会役員会の開催：月2～4回 ・参加団体交流会（実行委員会）の開催：6回 ・「ひがしなり街道玉手箱」周知ポスターの作成 ・「ひがしなり街道玉手箱」ガイドマップの作成		・ひがしなり街道玉手箱の参加者人数：延べ5,000人以上 【撤退基準】 ・上記目標が延べ2,000人未満の場合は事業を再構築する。 前年度までの実績 平成28年度実績 ・実行委員会役員会の開催：38回 ・実行委員会の開催（準備会含む）：6回	
中間振り返り	業績目標の達成状況	①：目標達成（見込）（i）取組は予定どおり進捗（ii）取組は予定どおり進捗していない ②：目標未達成（見込）（i）取組は予定どおり進捗（ii）取組は予定どおり進捗していない ③：撤退基準未達成		課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	戦略に対する取組の有効性	○：有効 ×：有効でないため取組を見直す ー：中間アウトカム未設定（未測定）		
自己評価	取組実績		課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須	
	業績目標の達成状況		改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須	
	①：目標達成（i）取組は予定どおり実施（ii）取組を予定どおり実施しなかった ②：目標未達成（i）取組は予定どおり実施（ii）取組を予定どおり実施しなかった ③：撤退基準未達成			
	戦略に対する取組の有効性	○：有効 ×：有効でないため見直す ー：中間アウトカム未設定（未測定）		

具体的取組4-2-2

【「東成区の地域資源」魅力発信】

27決算額 3,322千 円 28予算額 1,530千 円 29予算額 1,914千 円

計画	取組内容	業績目標（中間アウトカム）
	区の特徴である「モノづくり」を通じて、次世代を担う人材育成に取り組むとともに、まちの魅力等の地域資源を発掘し、にぎわいづくりにつなげていく。 ・「わが町工場見てみ隊」（工場見学）の開催：2回 ・「モノづくり体験フェスタ」の開催：1回 ・「まち歩き」の実施：3回	・東成区がモノづくりのまちだということを知っている割合：50%以上 ・「モノづくり体験フェスタ」の参加者人数：500人以上 【撤退基準】 ・東成区がモノづくりのまちだということを知っている割合が30%未満の場合は事業を再構築する。 ・「モノづくり体験フェスタ」の参加者人数が300人未満の場合は事業を再構築する。
		前年度までの実績 平成28年度実績 ・「わが町工場見てみ隊」（工場見学）の開催：2回 ・「モノづくり体験フェスタ」の開催：1回 ・「まち歩き」を実施：1回

中間振り返り	業績目標の達成状況		課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①：目標達成（見込）（i）取組は予定どおり進捗（ii）取組は予定どおり進捗していない ②：目標未達成（見込）（i）取組は予定どおり進捗（ii）取組は予定どおり進捗していない ③：撤退基準未達成		
	戦略に対する取組の有効性	○：有効 ×：有効でないため取組を見直す ー：中間アウトカム未設定（未測定）	

自己評価	取組実績	課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	業績目標の達成状況	改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①：目標達成（i）取組は予定どおり実施（ii）取組を予定どおり実施しなかった ②：目標未達成（i）取組は予定どおり実施（ii）取組を予定どおり実施しなかった ③：撤退基準未達成	
	戦略に対する取組の有効性	○：有効 ×：有効でないため見直す ー：中間アウトカム未設定（未測定）

具体的取組4-2-3

【市民活動団体等との協働による課題解決】

27決算額 2,038千 円 28予算額 1,050千 円 29予算額 1,004千 円

計画	取組内容	業績目標（中間アウトカム）
	地域課題の解決について市民活動団体等から提案をしてもらい、協働により取り組む「公募型提案委託」を実施する。 ・区の設定するテーマに基づく事業の公募：1回	・当提案事業が地域課題の解決につながると感じる区民の割合：50%以上 【撤退基準】 ・上記目標が30%未満の場合は事業を再構築する。
		前年度までの実績 平成28年度実績 ・1件

中間振り返り	業績目標の達成状況		課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①：目標達成（見込）（i）取組は予定どおり進捗（ii）取組は予定どおり進捗していない ②：目標未達成（見込）（i）取組は予定どおり進捗（ii）取組は予定どおり進捗していない ③：撤退基準未達成		
	戦略に対する取組の有効性	○：有効 ×：有効でないため取組を見直す ー：中間アウトカム未設定（未測定）	

自己評価	取組実績	課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	業績目標の達成状況	改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①：目標達成（i）取組は予定どおり実施（ii）取組を予定どおり実施しなかった ②：目標未達成（i）取組は予定どおり実施（ii）取組を予定どおり実施しなかった ③：撤退基準未達成	
	戦略に対する取組の有効性	○：有効 ×：有効でないため見直す ー：中間アウトカム未設定（未測定）

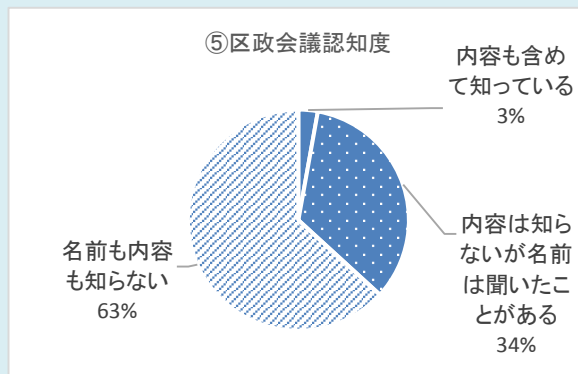
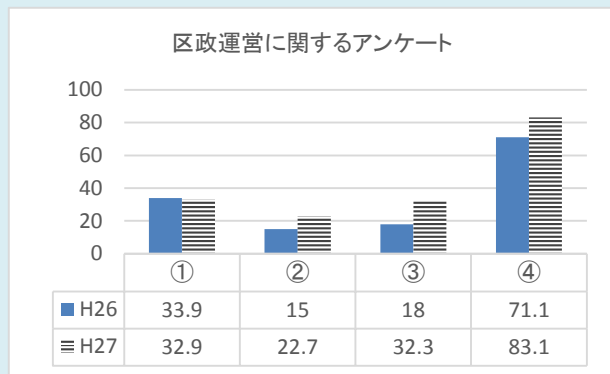
64

めざすべき将来像（最終的なめざす状態）＜概ね10～20年間を念頭に設定＞

- ・区政に関するわかりやすい情報が広く区民に届けられるとともに、区民の多様な意見や要望などが的確に区役所に届き、区民の区政運営に対する満足度が高い状態。
- ・職員がやりがいを感じ、業務に最善を尽くすことで効率的な業務運営が行われ、区民サービスの向上が図られている状態。

現状（課題設定の根拠となる現状・データ）

- ①区のさまざまな取組みに関する情報が伝えられていると感じる区民の割合：32.9%[-1.0ポイント]
 ②区のさまざまな取組みについて、区民から評価を受けるような工夫をしていると思う区民の割合：22.7%[+7.7ポイント]
 ③区役所が区政運営について区民の意見や要望を聞くような工夫をしていると思う区民の割合：32.3%[+14.3ポイント]
 ④区役所での来庁者への案内サービスや窓口での対応が以前に比べてよくなったと感じる区民の割合：83.1%[+12ポイント]
 【平成27年度 各区に共通する区政運営に関する事項についてのアンケート】[]は前年度比較
- ⑤区政会議について「知っている」は37%、そのうち「内容も含めて知っている」のは3%に留まっている。
 【平成27年度 区民モニター】



要因分析（現状・データから導かれる分析結果）＜めざすべき将来像と現状に差が生じる要因＞

- ・区民の多様な意見やニーズ、評価などが区役所に届いていると感じている区民の割合や、区の実施に関する情報が届いていると感じている区民の割合は、増加傾向にあるものの、水準としてはまだ低い状況である。
- ・要因の一つとして、区民の意見やニーズを把握し、区政運営に参画し、評価する場である区政会議についての認知度の低さがある。
- ・区役所のサービスや対応が良くなっていると感じる区民の割合は増加傾向にあり、比較的高い水準である。

課題＜上記要因を解消するために必要なこと＞

- ・区民の多様な意見や要望を把握し、区政に反映する取組みを進めると同時に、区政に関する情報をより多くの人に届けるために効果的な情報発信が必要である。
- ・来庁者の声を改善に活かし、引き続きサービス向上に努める必要がある。

戦略の進捗状況を踏まえた経営課題全体としての評価結果の総括

めざす成果及び戦略 5-1 【透明性と納得性の高い区政運営の推進】

計画	めざす状態＜概ね3～5年間を念頭に設定＞ ・区民の意見やニーズを把握し、区民が区政運営に参画・評価する仕組みが進んでいる状態	戦略＜中期的な取組の方向性＞ ・区政会議や区民アンケート等の方法により多様な区民の意見やニーズを把握し、区政運営の参考として活用する。
	アウトカム＜めざす状態を数値化した指標＞ ・区政運営について区民の意見や要望を反映していると思う区民の割合 平成29年度末までに60%以上	

自己評価	戦略のアウトカムに対する有効性	ア：有効であり、継続して推進 イ：有効でないため、戦略を見直す	課題 ※有効性が「イ」の場合は必須
	アウトカムの達成状況	前年度 個別 全体	
			今後の対応方向 ※有効性が「イ」の場合は必須
	戦略の進捗状況	a：順調 B：順調でない b：順調でない	

具体的取組5-1-1 【区政会議運営事業】

		27決算額	375千 円	28予算額	217千 円	29予算額	662千 円
計画	取組内容 区政会議において区民の意見やニーズを把握し、区政運営の参考として活用する。 ・区政会議の開催：3回 ・部会の開催：9回 ・開催毎にホームページや広報紙での速やかな公表	業績目標（中間アウトカム） ・区政会議について知っている区民の割合：60%以上 【撤退基準】 ・上記目標が30%未満の場合は再構築する。					
		前年度までの実績 平成28年度実績 ・区政会議の開催：2回 ・部会の開催：9回					
中間振り返り	業績目標の達成状況	課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須					
	①：目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②：目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③：撤退基準未達成 戦略に対する取組の有効性	○：有効 ×：有効でないため取組を見直す ―：中間アウトカム未設定(未測定)					
自己評価	取組実績	課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須					
	業績目標の達成状況	改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須					
	①：目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②：目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③：撤退基準未達成						
	戦略に対する取組の有効性	○：有効 ×：有効でないため見直す ―：中間アウトカム未設定(未測定)					

具体的取組5-1-2

【区民の声を把握する取組】

		27決算額	756千 円	28予算額	1,662千 円	29予算額	1,652千 円
計画	取組内容			業績目標（中間アウトカム）			
	区民の多様な意見やニーズを把握するため、区民アンケートや地域担当職員による情報収集を行う。 ・区民アンケートの実施：4回 ・地域担当職員による地域情報の収集：11地域			・アンケート実施が区民ニーズの把握に有効だと思う区民の割合：60%以上 【撤退基準】 ・上記目標が30%未満の場合は事業を再構築する。			
				前年度までの実績			
				平成28年度実績 ・区民アンケートの実施：4回 ・地域担当職員による地域情報の収集：11地域			
中間振り返り	業績目標の達成状況			課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須			
	①：目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②：目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③：撤退基準未達成						
	戦略に対する取組の有効性		○：有効 ×：有効でないため取組を見直す ー：中間アウトカム未設定(未測定)				
自己評価	取組実績			課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須			
	業績目標の達成状況			改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須			
	①：目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②：目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③：撤退基準未達成						
	戦略に対する取組の有効性		○：有効 ×：有効でないため見直す ー：中間アウトカム未設定(未測定)				

めざす成果及び戦略 5-2 【情報発信機能の多様な活用】

計画	めざす状態＜概ね3～5年間で念頭に設定＞ ・区役所からの情報が区民にいきなり、区役所と区民との情報共有が図られている状態	戦略＜中期的な取組の方向性＞ ・読みやすくわかりやすい表現の魅力ある広報紙を発行する。 ・広報紙やホームページなど様々な広報媒体を活用するとともに情報発信における地域参加により地域課題の解決を図る。
	アウトカム＜めざす状態を数値化した指標＞ ・区のような取組（施策・事業・イベントなど）に関して、必要とする情報が伝えられていると感じる区民の割合：平成29年度までに60%以上	

自己評価	戦略のアウトカムに対する有効性	ア：有効であり、継続して推進 イ：有効でないため、戦略を見直す	課題 ※有効性が「イ」の場合は必須
	アウトカムの達成状況	前年度 個別 全体	
			今後の対応方向 ※有効性が「イ」の場合は必須
	戦略の進捗状況	a：順調 b：順調でない	

具体的取組5-2-1 【広報・情報発信の充実】

		27決算額 11,402千 円	28予算額 14,464千 円	29予算額 14,464千 円
計画	取組内容 様々な広報媒体を活用し、わかりやすく魅力的な広報を行うとともに、地域参加型の広報紙配布業務を通じて、多様化する地域課題の解決を図る。 ・地域情報の広報紙への掲載：12回 ・広報板の活用：24回 ・広報紙、HPによる区長からの情報発信：各12回	業績目標（中間アウトカム） ・区のような取組（施策・事業・イベントなど）に関して、必要とする情報が伝えられていると感じる区民の割合：60%以上 【撤退基準】 ・上位目標が30%未満の場合は再構築する。		
		前年度までの実績 平成28年度実績 ・地域情報の広報紙への掲載：12回 ・広報板の活用：24回 ・広報紙、HPによる区長からの情報発信：各12回		
中間振り返り	業績目標の達成状況		課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須	
	①：目標達成（見込）（i）取組は予定どおり進捗（ii）取組は予定どおり進捗していない ②：目標未達成（見込）（i）取組は予定どおり進捗（ii）取組は予定どおり進捗していない ③：撤退基準未達成 戦略に対する取組の有効性	○：有効 ×：有効でないため取組を見直す ―：中間アウトカム未設定（未測定）		
自己評価	取組実績		課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須	
	業績目標の達成状況			
	①：目標達成（i）取組は予定どおり実施（ii）取組を予定どおり実施しなかった ②：目標未達成（i）取組は予定どおり実施（ii）取組を予定どおり実施しなかった ③：撤退基準未達成 戦略に対する取組の有効性	○：有効 ×：有効でないため見直す ―：中間アウトカム未設定（未測定）	改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須	

めざす成果及び戦略 5-3 【便利で信頼される区役所づくり】

計画	めざす状態＜概ね3～5年間で念頭に設定＞ 窓口業務において、区民がサービスの向上を実感できる状態	戦略＜中期的な取組の方向性＞ ・来庁者の声を取り入れ、区民サービスの向上につなげるとともに、職員がやりがいを感じて業務に取り組む職場風土を作る。
	アウトカム＜めざす状態を数値化した指標＞ ・区役所を過去1年間に訪れた区民のうち、来庁者への案内サービスや窓口での対応が良いと感じた区民の割合：平成29年度末までに80%以上	

自己評価	戦略のアウトカムに対する有効性	ア：有効であり、継続して推進 イ：有効でないため、戦略を見直す	課題 ※有効性が「イ」の場合は必須
	アウトカムの達成状況	前年度 個別 全体	
			今後の対応方向 ※有効性が「イ」の場合は必須
	戦略の進捗状況	a：順調 b：順調でない	

具体的取組5-3-1 【区民サービスの向上】

		[27決算額]		-	円	[28予算額]		-	円	[29予算額]		-	円
計画	取組内容					業績目標（中間アウトカム）							
	区民サービス・利便性の向上を図るため、区民の声や職員提案を取り入れ、環境改善・業務改善を行う。 ・「来庁者満足調査」の実施 ・職員プロジェクトチームによる具体的改善策の実施					・区民サービス向上のために、工夫や改善が行われていると感じる 区民の割合：60%以上 【撤退基準】 ・上記目標が30%未満の場合は事業を再構築する。							
中間振り返り	業績目標の達成状況					課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須							
	①：目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②：目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③：撤退基準未達成												
自己評価	戦略に対する取組の有効性					○：有効 ×：有効でないため取組を見直す ―：中間アウトカム未設定(未測定)							
	取組実績					課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須							
自己評価	業績目標の達成状況					改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須							
	①：目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②：目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③：撤退基準未達成												
自己評価	戦略に対する取組の有効性					○：有効 ×：有効でないため見直す ―：中間アウトカム未設定(未測定)							

具体的取組5-3-2 【市政改革を推進する職員づくり】

		27決算額	-	円	28予算額	-	円	29予算額	-	円
計画	取組内容				業績目標（中間アウトカム）					
	改革を進めていくため、職員が前向きで主体性・チャレンジ意識を持つことの重要性を認識し、かつ、具体の行動につなげることを目的とし、若年層職員の育成や管理監督者のマネジメント力の向上を図る。 ・区長と職員のミーティングの実施 ・先進事例を活用した職場内研修の実施				常に行政のプロとしての意識を持ち業務に取り組んでいる 職員の割合：36% 【撤退基準】 ・上記目標が20%未満の場合は事業を再構築する。					
中間振り返り	業績目標の達成状況				課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須					
	①：目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②：目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③：撤退基準未達成									
自己評価	戦略に対する取組の有効性				○：有効 ×：有効でないため取組を見直す ー：中間アウトカム未設定(未測定)					
自己評価	取組実績				課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須					
	業績目標の達成状況				改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須					
	①：目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②：目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③：撤退基準未達成									
自己評価	戦略に対する取組の有効性				○：有効 ×：有効でないため見直す ー：中間アウトカム未設定(未測定)					